

聖中だより

<http://schit.net/tama/jhhijirigaoka/>
ユネスコスクール・コミュニティスクール
オリンピック・パラリンピック教育レガシーアワード校



学校教育目標

- ・心身ともに健康で実践力のある生徒
- ・深く考え進んで学ぶ生徒
- ・人や物・自然を大切にする生徒

コロナに負けず、夏休みの成果を生かした2学期にしよう

校長 麻生 隆久

40日間の夏休みも終わり、いよいよ新学期が始まりましたが、皆さん、心身ともにリフレッシュできたでしょうか。

私は、図らずも7月に新型コロナウイルスに感染してしまい、皆さんより一足先に長いお休みを取らせていただいたことは、以前にお伝えした通りですが、おかげさまで、隔離期間を終えたころには、体調もすっかり回復し、目立った後遺症也没有ありません。しかし、後遺症については、かなり個人差があるようなので一概には言えませんが、やはり、注意するに越したことはありません。第7波もようやく減少傾向に入ったようですが、引き続き、感染対策を続けながら、本来の学校生活に近づけていきたいと思えます。

さて、夏休み中は、部活動や勉強など、自分の目標に向け、さまざまな取組をしていたことと思います。その成果を2学期に存分に発揮してほしいと思えます。そのような中、PTAメールでもお伝えした通り、8月20日(土)に、東京都主催の「夏のSDGsの集い」が有楽町の東京国際フォーラムで開かれました。その中で、SDGsの取組内容を紹介するという企画があり、本校が中学校の代表として発表しました。当日は、3年生の石田廉太郎君、吉田つき乃さん、佐々木結加さん、2年生の井田妃織さんの4名が本校の代表として、昨年度の多摩市子どもみらい会議での内容を中心にプレゼンテーションを行ってくれました。当日は、広い会場で一般の参観者も多い中、しかもライブ配信されるということで、かなり緊張もあったことと思いますが、皆、雰囲気にもまれることもなく、しっかりと自分の役割を果たしていました。その発表の内容は、主に、2年間にわたる、縦割り形式を取り入れた生徒主体の多岐にわたる活動についてでしたが、当日のパネラーの専門家の先生方からも高い評価をいただきました。

当日の小池都知事からのビデオメッセージに、SDGsを実現するためには、「楽しく取り組むことが大事」との言葉がありました。今回の発表は、これまでの活動の成果であると同時に、これからの取組の土台になるとも言えます。聖中として、これからも様々な活動にSDGsの視点を取り入れ、一人一人の力で、取組を継続していきたいと思えます。

なんと!! あの『キンタロー。』さんが来校されます!

皆さんは、女性お笑い芸人の「キンタロー。」さんを御存知ですか。あの元AKB48だった前田敦子さんのものまねで一躍有名になった方といえば、わかるでしょうか。数年前には、中居正広さんのテレビ番組の企画で、得意の社交ダンスの腕前を磨き、見事日本代表となり、世界大会にも出場されました。最近では、24時間テレビにも出演されていましたので、分かる人も多いと思えます。その「キンタロー。」さん御本人が、多忙の中、9月9日(金)に聖中に御来校くださいます。実は、「キンタロー。」さんは、英語の話せる芸人さんとしても知られています。そこで、今年度、聖中の「英語カススキルアップ大作戦」の一環として、東京都の「子どもを笑顔にするプロジェクト」という企画に応募したところ、今回の御来校が実現しました。当日は、40分ほどですが、「キンタロー。」さんから、英語上達にまつわるお話などを含め、楽しいトークをしていただけることになっています。皆さんからの質問に答えていただく時間もあるので、ぜひ楽しみにしててください。

